

第55回 定期総会開催

新総会長に趙永哲牧師選出、年金制度の廃止決議



趙永哲 総会長



中江洋一 副総会長



李大宗 副総会長



梁榮友 書記



張慶泰 副書記



申大永 会計



2019年10月13日（主日）～15日（火）在日大韓基督教会第55回定期総会が「信仰をはぐくみ、この世の光に」（ヨハネ8：12）という主題で名古屋教会で開催された。

13日（主日）の午後7時から副総会長の呉永錫長老の司会で始まった開

会礼拝は、総会長の金鐘賢牧師が「信仰によって宣教する教会」（ローマ8：19～22）という題で説教した後、書記の趙永哲牧師の司式のもと聖餐式が執り行われた。未自立教会支援のために献金があった後に、金君植名誉牧師による「召天者」追悼の言葉と祈りが行われた。

開会礼拝が終わった後、わが在日大韓基督教会が1970年代から毎年クリスマス献金から支援してきた「シロアム眼科病院」の特別報告会が、病院長の金善泰牧師によって行われた。

全総代148名のうち出席総代114名が確認された後、会議の開会が宣言され2泊3日の定期総会日程に入った。まず、議事運営委員の承認と会順採択がされた後、新総代紹介、前総会長および副総会長の紹介、来賓紹介、前回定期総会会議録が承認され一日目の会議が終わった。

二日目は、敬虔会（司会：金秉喆牧師、説教：崔榮信牧師）後、早速選挙に入り、総会長に趙永哲牧師（大阪北部）、副総会長に中江洋一牧師（広島）、李大宗長老（名古屋）が選出された。その他の任員は、書記：梁榮友牧師（武庫川）、副書記：張慶泰牧師（船橋）、会計：申大永長老（東京希望キリスト）が選ばれた。任員選挙や会議の間に各種報告と内外来賓紹介と挨拶があった。今回の来賓は以下の通り。

美国長老教会（PCUSA）韓人教会全国総会（NCKPC）総会長の崔秉浩牧師、台湾基督長老教会 副総会長 Abus Takisvilain牧師、池袋台湾教会 郭寛城牧師、韓国基督教長老会 総会長 陸淳琮牧師、基督教大韓監理会 宣教局 総務 呉一泳牧師、日本基督教団総会副議長 久世そらち牧師、日本キリスト教会大会議長 久野真一郎牧師、アジア基督教協議会（CCA）実行委員 金鐘九牧師、日本キリスト教協議会（NCCJ）総幹事 金性済牧師、大韓イエス教長老会（合同）世界教会交流委員長 朴溶圭牧師、大韓イエス教長老会（大神）総会長 黄亨植

牧師、総務 趙姜新牧師、大韓イエス教長老会（統合）事務総長 辺昌培牧師、在日カナダ宣教師資料館長 黄煥瑛長老。

昼食を挟んで委員長が推薦され承認を受け、常任委員会が組織された。引き続き前総会長の金性済牧師の司式のもと「旧・新常任委員交替式」が行われ、議長が趙永哲新総会長に交代された。新しく選任された委員長は以下の通り。

宣教委委員長：金鐘賢牧師（浪速）、教育委員長：金明均牧師（名古屋）、社会委員長：李根秀牧師（大阪KCC）、神学考試委員長：金聖孝牧師（熊本）、信徒委員長：李明忠牧師（横浜）、憲法委員長：洪性完牧師（つくば東京）、救済基金準備委員会：金秀生長老（名古屋）、財政委員長：申大永長老（東京希望キリスト）、讃頌歌委員長：崔亨喆牧師（枚岡）、平和統一会議準備委員長：鄭然元牧師（大阪）、監査：梁昌熙長老（武庫川）。

引き続き報告、委員会の組織、献議案審議、青年会代表の挨拶などがあり、夕食後には各委員会が行われ二日目の日程が終わった。

三日目は、敬虔会（司会：李重載牧師、説教：李相徳牧師）から始まり、議事に入って各委員会の活動計画の報告と質疑討議がなされた。三日間決議された主な献議案は、①第9回「祖国の平和統一と宣教に関する基督者会議（東京）」開催に伴い、特別委員会として「平和統一会議準備委員会」設置の件。②「年金規則の廃止」と廃止後の救済基金設立に伴う「救済基金準備委員会」を設置する件。③神学考試委員会細則第8条の3項目追加の件。④総代権に関する改正案（総会規則第3章第3条第1項の改正案）⑤その他、KCC、RAIK、西南KCC、在日総会神学校の理事、監査承認の件。

最後の予算案審議と承認があり閉会礼拝に移った。副総会長中江洋一牧師の司会、副総会長李大宗長老の祈祷の後、総会長趙永哲牧師の「KCCJの未来と希望」（エレミヤ29：1）という題目の説教があり、閉会が宣言された。

場所を提供し、あらゆる奉仕をしてくださった名古屋教会の金明均牧師をはじめ李成俊伝道師、長田真一執事、孔大梧執事、聖歌隊、また特に名古屋教会女性会、中部地方会、全ての礼拝に伴奏の奉仕をしてくださった岸本真理子牧師夫人、同時通訳の高誠牧師、金成彦牧師、趙顯奎牧師、石橋真理恵伝道師、海外来賓の空港出迎え奉仕をされた申容燮牧師、李明信牧師、朴正根牧師、尹鍾憲牧師、金伸禹牧師、趙原徹牧師、席を離れず会議録書記として尽力された朴栄子牧師、姜章植牧師に心から感謝する。

（編集者）

第55回総会期 各委員会組織と活動計画

●宣教委員会

＜組織＞

- ・委員長：金鐘賢牧師（浪速）
- ・委員：尹鐘憲牧師（書記、明石）、
李炫知勸士（会計、女性会）、
姜章植牧師（品川）、全聖三牧師（布施）、
郭鏞吉牧師（沖縄）、崔光一長老（名古屋）、
金錦順長老（布施）



＜活動計画＞

- (1) 全国教会と機関のための祈祷カレンダー作成共有
- (2) 総会宣教と伝道政策研究
- (3) 日本国内の宣教協約を結んでいる教団との協力交流
- (4) 海外韓人教会教育と牧会協議会に協力と支援
- (5) 韓国5教団宣教師に関する実務者会議 参加協力
- (6) カルト(異端)に対する研究と対策事業

●教育委員会

＜組織＞

- ・委員長：金明均牧師（名古屋）
- ・委員：崔和植牧師（書記、長野）、
金錦順長老（会計、布施）、
李惠淑牧師（愛の）、宋南鉉牧師（大阪第一）、
金永柱牧師（西宮）、辛治善牧師（福岡中央）



＜活動計画＞

- (1) 2020年、教役者・長老研修会
- (2) 2021年、全国教役者研修会
- (3) 海外韓人教会教育と牧会協議会（2020年2月18日～21日／オーストラリアのメルボルン）への参加

●社会委員会

＜組織＞

- ・委員長：李根秀牧師（KCC）
- ・委員：金迅野牧師（書記、横須賀）、
申容燮牧師（会計、KCC）、
蔡銀淑牧師（大垣）、李相徳牧師（三次）、
朱文洪牧師（小倉）、高慶美（女性会）、
佐藤信行氏（准、RAIK）



＜活動計画＞

- (1) 被災地へのサポート。
- (2) マイノリティ宣教センターへの支援。
- (3) 2020年祖国統一平和会議準備委員会を側面からサポートする。
- (4) 朝鮮高校無償化の運動などの具体的な活動を通じた側面的サポートをおこなう。
- (5) 和解と平和の日韓共同祈祷会を、各地方会単位でもおこなえるようにする。
- (6) 2020年に人権シンポジウムを開催する。

●神学考試委員会

＜組織＞

- ・委員長：金聖孝牧師（熊本）
- ・委員：韓世一牧師（書記、神戸）、
金容昭牧師（会計、西新井）、
李珍容牧師（豊田めぐみ）、
林明基牧師（京都）、朴栄子牧師（豊中第一復興）、
梁栄友牧師（武庫川）



＜活動計画＞

- (1) 宣教師・牧師・伝道師考試の実施
- (2) 宣教師・他神学校出身者の研修会
- (3) KCCJ標語の考案
- (4) KCCJ教職・指導者養成
 - ①教職者（牧師）への継続教育
 - ②次世代の牧師・伝道師養成
 - ③学習・洗礼書の訂正、改善、整理など
 - ④奨学金受給者の選定

●信徒委員会

＜組織＞

- ・委員長：李明忠牧師（横浜）
- ・委員：高誠牧師（書記、岐阜）、
李銀珠勸士（会計、横浜）、
金漢羅牧師（大宮）、崔亨喆牧師（枚岡）、
韓承哲牧師（神戸東部）、趙顯奎牧師（別府）



＜活動計画＞

- (1) 引き続き青年の活動を支援していく
- (2) 委員はラインなどで会議を持ち、コミュニケーションを持つ

●憲法委員会

＜組織＞

- ・委員長：洪性完牧師（つくば東京）
- ・委員：白承豪長老（書記、神戸）、
高誠牧師（会計、岐阜）、
朴成均牧師（和歌山第一）、
金聖孝牧師（熊本）、李永九長老（横浜）、
嚴敏俊長老（京都）



＜活動計画＞

- (1) 第55回総会における規則改正や献議案の決議などに伴う「憲法及び規則集」を整理して出版する。
- (2) 「憲法及び規則集」には、憲法・規則の他に以下の規則を含める。
 - ①在日大韓基督教会信条
 - ②各地方会規則など
 - ③常任委員会の各委員会規則及び規定
 - ④宗教法人「在日大韓基督教会」規則
 - ⑤被包括宗教法人「在日大韓基督教会〇〇教会」規則のひな形
- (3) 5地方会の各規則を総会憲法・規則に整合するように審査・調整する。
- (4) 憲法・規則のハンドブックの作成

●救済基金準備委員会

＜組織＞

- ・委員長：金秀生長老（名古屋）
- ・委員：吉井秀夫長老（書記、京都）、
高在道長老（会計、名古屋）、
李明信牧師（山形ウリ）、金哲鎬長老（神戸東部）、
金定明長老（宇部）



＜活動計画＞

第55回総会で年金規則の廃止と廃止後の資金分割案と資金分割内の救済基金設立に伴う本委員会を設立する献議案が議決された（年金委員会は解散し本委員会に引き継ぐ）。この結果を踏まえ、救済基金準備委員会設立の主旨と役割を以下に定めた。

（主旨）本委員会は年金委員会解散後に生活に困る引退教役者と遺家族の救済を目的に管理、保全活動を行う。

（役割）年金資金の清算（定年前教役者、現状の年金受給者への一括返済）

残された救済基金の受給者資格規則を制定
救済基金を枯渇させない保全活動と管理

●財政委員会

<組織>

- ・委員長：申大永長老（東京希望キリスト）
- ・委員：裴良一長老（書記、京都）、
金勝正長老（会計、豊橋）、
柳町功長老（横浜）、朱宗中長老（西宮）、
高文局長老（別府）



<活動計画>

- (1) 総会財政の健全化に努める。
 - ① 総会分担金への意識を高める/未収金の解決に取り組む。
 - ② 各委員会の予実決算確認及び監査活動を行う。
- (2) 総会・地方会及び個教会の働きを支える活動
 - ① 新機能の救済基金委員会の独立した活動を支える。
 - ② シンプル会計で業務負担増を避ける。
 - ③ 個教会の財政に関する要望に応じられるようになりたい。

●讃頌歌委員会

<組織>

- ・委員長：崔亨喆牧師（枚岡）
- ・委員：朴栄子牧師（書記、豊中第一復興）、
金忠洛牧師（会計、大阪）、
韓澤柱牧師（姫路）、申容燮牧師（KCC）、
金必順牧師（准）、呉寿恵先生（准）



<活動計画>

最新のゴスペルソングの子供讃美歌を翻訳して各教会に提供する。

●平和統一会議準備委員会

<組織>

- ・委員長：鄭然元牧師（大阪）
- ・委員：張慶泰牧師（書記、船橋）、
申大永長老（会計、東京希望キリスト）、
具滋佑牧師（東京希望キリスト）、
朴英遠長老（品川）



<活動計画>

- (1) 第9回「祖国平和統一と宣教に関する会議」開催に伴う準備に臨む。
 - ① 日本国内協力体制を整える。
 - ② 国外（韓国、諸外国）協力体制を整える。
 - ③ 日程、場所、予算などの決定と広報。



第55会期常任委員会の委員たち



女性総代一同



新旧総会長交代式



名古屋教会が提供した夕食会

二日目の敬虔会で
説教をする崔栄信牧師三日目の敬虔会で
説教をする李相徳牧師

青年会全国協議会の代表たち



同時通訳奉仕者



名古屋教会女性会

和解と平和を求める韓日 キリスト者共同祈禱会開催



去る10月9日、日本キリスト教会柏木教会で「和解と平和を求める韓日キリスト者共同祈禱会」が、約200名が集まり行われた。この共同祈禱会は韓日の政治状況が悪化する中、去る8月11日に韓国基督教協議会(NCKK)の招きによりソウルで行われ、日本から5名が出席した祈禱会において、日本でもこのような会を持つ必要性を感じた金柄鎬総幹事の呼びかけにより、日本の諸教会が協力して開催するに至った。

韓国からは賛美チームを合わせて20名が出席し、13の韓日教会やキリスト教団体による共同の祈りを行った。代表のメッセージには日本側は日本基督教団総会議長の石橋秀雄牧師、韓国側はNCKK総務の李鴻政牧師が行った。

総会長の金鐘賢牧師は、共同祈禱において「日本は、歴史の時計を後ろに戻すことを止め、神を畏れ、この地へ和解と平和を導かれる神の御心に従い、東北アジアの平和の為に韓国と共に働くことができるようにしてください。」と祈られた。

和解と平和の主イエス・キリストを信仰告白する韓日キリスト教会は、韓日関係が戦後において最も悪い関係になっている中、この時こそ共に手を合わせて祈るべきであることを共有し、この祈りが今後韓国・日本の各地域に広がり「和解と平和を求める韓日キリスト者共同祈禱会」が引き続き行われることを願う。

関西
地方
会

サンスフェスティバル開催

『苦難の時こそ祈りと讃美を!』主題で

関西地方会青年部、壮年部、女性部3部共催の第10回サンスフェスティバルが、10月20日(主)大阪北部教会で開催された。今回は「苦難の時こそ祈りと讃美を!」という主題で17教会から167名が参加して主の恵みに感謝し、ともに交わりの時をもった。

第一部礼拝では、総会長の趙永哲牧師が、「苦難の時こそ祈りと讃美を」(ヤコブの手紙5:13)という題で説教し、第二部の講演には、大阪女学院大学非常勤講師の橋本るつ子先生を招いた。キリスト教界では著名な榎本保郎牧師(故人)のご長女でもある。「苦難の時こそ祈りと讃美を!」をテーマにして「わが恵み、汝に足れり」、「私の好きな讃美歌」、「心に響く讃美歌」を生前の榎本保郎牧師の思い出、昨年55歳の若さで召天された関西学院大学神学部教授でおられた榎本てる子先生(妹さん)のこと、また32歳の若さで天に召されたご主人との出会いから神様の御前に送るまでを讃美を歌いながら語られた。

第三部は金必順牧師を招き、大阪教会の少年少女聖歌隊リトルジェイズ(指導:高周利)と、堺教会の教会学校子どもたちのリードで、参加者みな声に合わせて賛美した。

(報告: 関西地方会女性部)



西南
地方
会

夏季修養会を開催

「見よ、私が新しいことを行う」主題で

西南地方会は9月8日〜9日まで、大分県の由布院セントハウスで、「見よ、私が新しいことを行う」という主題により、2019年の夏季修養会を開催した。

今回の修養会には韓国の大韓イエス教長老会(統合)ハンサン教会の李命徳牧師を講師として招き、恵みの御言葉を頂いた。西南地方会の各教会から、36名の教役者・信徒が参加した。

開会礼拝は西南地方会会長金仁果牧師が説教をし、講師の4回の特別講義では苦難と治癒を中心とした、恵みの御言葉の宣布があった。閉会礼拝は西南地方会副会長金聖孝牧師が説教した。

(報告: 辛治善牧師)



韓半島の正義と平和の巡礼に参加して

車有吾(京都教会青年)

私は車有吾(チャ・ユオ)と申します。現在、関西聖書神学院で神学を学ぶ傍ら、関西地方会青年連合会の会長も務めています。今回、青年会全国協議会からお話を頂き、8月6日〜12日まで韓国のソウルにて行われたWCC主催の「The Pilgrimage of Justice and Peace in the Korean Peninsula 韓半島の正義と平和の巡礼」に参加しました。

在日大韓基督教会からは私一人の参加で、他に知り合いもいませんでしたが、初日の夕食のときに、同じ日本から来た人がいてteam Japanができました。

私はこのプログラムで、日本における朝鮮学校無償化差別に関する発題をし、また日本の戦争責任や歴史認識について学ぶことができました。これからも神の正義と平和の構築に関して考えていきたいです。

最後に、私を韓国PJPに参加させてくださった皆さんに感謝申し上げます。カムサハムニダ!!



讃頌歌委員会より「子どもさんびか」が 発行されました。

主の祈り・使徒信条・交読文・十戒 集録
(いずれも韓国語・日本語)
一冊1,000円
お問い合わせは総会事務局へ
電話 03-3202-5398

